

## 第6回学術大会（静岡）を終えて

2018年3月4日（日）に、193名の参加者で開催することができました。本大会のテーマである、「輝き日本一 ～こどもを輝かせなくっ茶！～」を学ぶことができました。基調講演、福田恵美子先生（長野保健医療大学）「感度のよい OT でありたい～輝きながらゆったり育っているこども達～」では、発達領域 OT の歴史や心構えを学びました。特別講演、久保田絢女先生（武蔵野市地域療育相談室ハビット）「ハンデがあっても輝ける世界～当事者から作業療法士になって気づいた輝きの源～」では、当事者の世界が伝えられ、多くの参加者が刺激を受けました。演題発表は過去最高の11演題あり、実践的な内容が多く、臨床に取り入れられるアイデアをいただきました。機器展示では最新の機器を体験できました。時間的な制約があるために、十分な時間を設けられなかったところもありますが、これをきっかけに自ら情報を集め、学んでいただけたらと思います。臨床 OT 5名で学会準備を進めましたが、やれば何とかなるものだと実感した学会でもありました。学会のロゴに加えて、本大会のキャラクターなどのデザインも良く、ノートや抄録集も素敵な出来栄えだったと自負しております。今後さらに発達系 OT が発展して行くためにも、会員の確保や実践や研究報告を積み重ねていく必要があります。福田先生からの「作業を療法に」を実践し、子どもたちの将来にかかわる働きを、皆さんで取り組んでいけたらと思います。次年度は千葉県で第7回学術大会が開催されます。会員向けの研修会も企画され、さらに楽しい大会になることを期待しております。

大会長 鴨下賢一



開会式(大会長 鴨下賢一先生)



学会長あいさつ（加藤寿宏先生）



## 基調講演

「感度のよい OT でありたい～輝きながらゆったり育っているこども達～」

講師：福田恵美子先生（長野保健医療大学）





演題発表



特別講演

「ハンデがあっても輝ける世界～当事者から作業療法士になって気づいた輝きの源～」  
講師：久保田純女先生（武蔵野市地域療育相談室ハビット）



閉会式(次期大会長 有川真弓先生)



大会長、実行委員長、実行委員の皆様

次回は2019年3月2日(土)、3日(日)、千葉(大会長 有川真弓先生)にて開催いたします。